

# 昌平通信

平成22年3月5日第40号  
編集・発行  
昌平高校通信課程  
いわき学習センター

## 卒業旅行へ行ってきました!! ～沖縄～

2月17日2泊3日の沖縄への卒業旅行が実施されました。参加生徒はいわき学習センターの6名。少人数ではありましたが、充実した旅行となったようです。今回の昌平通信ではその一部を写真付きで紹介します♪



**2/17** 6:30いわき学習センター出発 → 11:50仙台空港発 → 15:05着那覇空港  
→ 世界遺産・首里城 → 恩納村・リザンシーパークホテル谷茶ベイ



**2/18** 恩納村・ホテル → 沖縄美ら海水族館 → 琉球村 → 道の駅かでな  
→ 那覇市内・沖縄ナハナ・ホテル&スパ



**2/19** 那覇市内・ホテル → ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念資料館  
→ 沖縄県立平和祈念資料館・摩文仁の丘・福島塔  
→ 那覇空港 → 仙台空港 → いわき学習センター



世界遺産の首里城や人気観光地の美ら海水族館、琉球村で沖縄の風土や文化を満喫しつつ、ひめゆりの塔や平和祈念資料館等を巡り戦争の悲惨さや平和についても深く考えさせられました。今回の旅行はとても意義あるものとなりました。

「ありがとう・・・感謝」

ちひろ

年のせいかこのごろ無性に昔の友人が懐かしくなる時があり、突然電話をしたりする。去年は友人三人が逝った。その中でしめやかに執り行われたSさんのお通夜は心に深く感じるものがあつた。式場の片隅には生前愛用した剣道具と竹刀が置かれていた。見た瞬間涙がこみあげた。Sさんは私の先輩である。若い頃はよく稽古をした。二人だけより共に全国教職員剣道大会へ出場した懐かしい思い出がある。私が二十三歳の時であつたから、ずいぶん古いことになる。稽古が終わると海の近くにあるSさんの家へ導かれ、奥様の手料理で歓待して下さり、したたかに酒も飲んだ。Sさんは歌がとて上手だつた。漁港に近い小学校に勤めていた頃には保護者達に合唱を指導していたと聞いたことがある。若い頃のSさんはスタイリストでもあつた。多分生徒やその母親達から人気があるのだろうとその頃は思つたりもした。書の才能にも長けていたので、達筆な毛筆の年賀状は年頭の私の楽しみでもあつた。酒が入ると大声で議論をすることもあつた。それは剣道の技術面に關することや指導のあり方、これからの剣道のあるべき姿、剣道の奥義にまで及ぶ。当時の私の力量からは不相応な議論でもあつた。また時にはSさんの歌声に静かに耳を傾け、Sさんもまた未熟な私の短歌を丁寧に鑑賞してくれ、励ましのことばをくれた。

やがてお互いに県立高校を退職し、会う機会もまれで、電話や年賀状の最後は「そのうちまた稽古しましょう。」「そのうち一杯やりましょう。」が決り文句で私が近く会いに行こうと思ひながらいた。矢先の訃報であつた。通夜の式の進行のなかで、Sさんの臨終の様子話された。お嬢さんが「お父さん、何かして欲しいことない？」と言つた時に、「あの曲をかけてくれ」とおっしゃつたという。いつもSさんが好んで聞いた歌つたりしていた「ありがとう」とおっしゃつたという。この曲を聞きつたりSさんは逝つたそうだ。武道家としての美意識を最期まで失わなかつたSさん、あなたに粹な武道家でした。式の終わりに臨席者一同が哀しみをこらえてこの曲を合唱し冥福をお祈りした。Sさんの死を契機に、私は今後の交友を一期一会の心でしようと思つた。これまでは、また会えると軽く別れていたが、これからは別れは心をこめてしようと思つている。

・ 剣道の切磋琢磨を偲びつつ通夜に飾られし防具に触れぬ



〈3月の行事予定〉

- 1日～19日 履修相談期間（在校生）
- 8日 卒業生ガイダンス（卒業生対象）
- 13日 平成21年度卒業証書授与式
- 23日～ 新入生履修相談



平成21年度卒業生進路状況

- 《進学》
- 〈四年制大学〉  
 東日本国際大学 茨城キリスト教大学 目白大学  
 桐蔭横浜大学 いわき明星大学
- 〈短期大学〉  
 いわき短期大学 郡山女子大学短期大学部
- 〈専門学校〉  
 いわきコンピュータ・カレッジ いわき理容美容専門学校  
 東日本航空専門学校 日本工学院専門学校 文化服装学院  
 専門学校アニマルインターカレッジ 仙台医療福祉専門学校  
 トヨタ東京自動車大学校 中川学園調理技術専門学校
- 《就職》  
 株式会社 添田計測 JAいいで慶徳支店  
 オリックス・ゴルフ・マネジメント小名浜カントリー倶楽部  
 株式会社 木村管工

